

庄原市行政評価シート

令和 **元** 年度評価

事務事業名				【広報公聴事業】庄原市出前トーク事業				
実施期間	平成	17年度	～	平成	年度	(終期の設定のない場合は、終期を空白)	所管課	総務部 行政管理課

予算科目	会計	01 一般会計	款	02 総務費	項	01 総務管理費
	目	03 文書広報費	事業	0402 広報公聴事業		

対象者	市民等が構成する団体	対象者数など	不特定多数
根拠法令・計画等	庄原市出前トーク実施要綱		
HPアドレス	http://www.city.shobara.hiroshima.jp/main/government/kohokocho/kocho/demae.html		

実施目的	市民等が構成する団体からの要請に基づき、集会、学習会等に市職員を派遣し、職員の専門知識を生かした説明、懇談等を行うことにより、市民の市政に対する理解を深め、まちづくりへの意識啓発を図るとともに、市民の要望及び意見を幅広く市政に反映させ、市民と行政との協働によるまちづくりを進めることを目的として実施。
事務事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ■対象団体：市内在住または通勤・通学する市民等で構成された団体で、その構成員を対象とした集会等を開催する団体。 ■内 容：原則として別に定めるメニュー(106)による。 ■開催方法： <ol style="list-style-type: none"> (1) 参加者は、おおむね10人以上とする。 (2) 時間は、午前9時から午後9時までの1回当たり2時間以内とする。 (3) 説明員は、市の職員とする。 (4) 開催場所は、市内に限り、施設等の利用については団体の責任において行う。 ■申 込：団体の代表者は、開催希望日の概ね2週間前までに、出前トーク申込書を市長に提出する。 ■制 限：次の各号のいずれかに該当するときは、申込みを承諾しない。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 公益を害し、又は善良な風俗を乱すおそれがあるとき。 (2) 政治、宗教又は営利を目的とするおそれがあるとき。 (3) 出前トークの目的に反すると認められるとき。 (4) その他市長が特に必要と認めるとき。

年度別実績概要	
平成 28 年度	メニュー数:98項目、実施回数:84回、参加人数:2,385人 (実施回数の多いメニュー:○介護保険制度について 10回、○災害に備えて 10回)
平成 29 年度	メニュー数:104項目、実施回数:100回、参加人数:2,380人 (実施回数の多いメニュー:○災害に備えて 11回、○季節の健康管理 10回)
平成 30 年度	メニュー数:104項目、実施回数:145回、参加人数:3,298人 (実施回数の多いメニュー:○庄原版終活ノート「いしかたノート」について 22回、○「自分だけは大丈夫!?'身近にせまる悪質商法 19回 ○季節の健康管理について 19回)

実績指標

(単位:千円)

事業費 (インプット)	項目	内容	H 28	H 29	H 30	合計
	事業費	通信運搬費	出前トーク決定通知用切手代	9	10	10
						0
						0
事業費計		9	10	10	29	
国県補助金						0
財源		地方債				0
	その他				0	
	一般財源		9	10	10	29

指標名称		単位	基準値	H 28	H 29	H 30	合計
実績 (アウトプット)	1 出前トーク目標回数	回		100	100	110	310
	2						0
	3						0
成果 (アウトカム)	1 出前トーク実施回数	回		84	100	145	329
	2						0
	3						0
備考							

事務事業名	【広報公聴事業】庄原市出前トーク事業	所管課	総務部 行政管理課
-------	--------------------	-----	-----------

評価項目		所管課評価	市民意見	評価委員会	評価分布			
分布は、A:+1,B:0,C-1で総回答数で割り、小数点以下四捨五入。ただし、A-C又はC-AがBより多い場合はA',C'に補正する					市民意見		評価委員会	
優先度		B	B	B	分布	平均	分布	平均
A	同じ分野の他の事業と比較し、優先度が高い事業である。				2		1	
B	同じ分野の他の事業と比較し、優先度は中くらいの事業である。				4		6	
C	同じ分野の他の事業と比較し、優先度が低い事業である。				0	0	0	0
認知度		B	B'	B	分布	平均	分布	平均
A	対象者以外にも、おおむねの内容は知られている事業である。				3		0	
B	対象者には、おおむねの内容は知られている事業である。				2		5	
C	一部の者を除き、事業があることすら知られていない。				1	0	2	0
有効性		B	B	A	分布	平均	分布	平均
A	費用に対して、効果・成果が高い事業である。				2		4	
B	費用に対して、効果・成果が中くらいの事業である。				4		3	
C	費用に対して、効果・成果が低い事業である。				0	0	0	1
受益者満足度		A	B	A	分布	平均	分布	平均
A	受益者(対象者)は、満足している事業内容である。				1		5	
B	どちらともいえない。				2		2	
C	受益者(対象者)が、満足できない事業内容である。(改善要望がある ほか。)				0	0	0	1
市民(納税者)納得度		B	B	A	分布	平均	分布	平均
A	目的・費用・自己負担・内容等から、対象者以外も納得できる事業である。				1		4	
B	どちらともいえない。				2		3	
C	目的・費用・自己負担・内容等から、対象者以外は納得できない事業である。				0	0	0	1
代替性		A	B'	A	分布	平均	分布	平均
A	収益性や技術面から民間での実施が難しく、市が実施すべき事業である。				3		6	
B	民間での実施も可能であるが、公共性・公平性などから市が関与すべき事業である。				3		1	
C	市の関与は委託や助成とし、民間等での実施を検討すべき又は市が関与する必要はない事業である。				0	1	0	1
まちづくり基本条例適合性		B	B	B	分布	平均	分布	平均
A	市民(団体等を含む。)の自立を促進する事業である。				2		2	
B	市民の自立促進までは期待できないが、条例の趣旨(市民が主役のまちづくり)に沿った事業である。				4		5	
C	条例の趣旨に沿った実施形態となるよう、手法・内容を見直すべき(終了を含む。)事業である。				0	0	0	0
所管課評価		現行どおり						
評価視点	<ul style="list-style-type: none"> 年間の利用回数や実施後の利用団体からのアンケート内容により、満足度や市民のニーズなど一定の評価が確認できる。 定期的実施される団体(リピーター)の数により、一定の評価が確認できる。 							
所管課が課題と考える内容	<ul style="list-style-type: none"> 広報紙により周知を行っているが、利用は地域によって大きなばらつきがあり、庄原地域以外では利用が少ない状況にある。庄原地域以外での利用が少ない要因を調査し、利用の増加につなげていくことが今後の課題である。 							

事務事業名	【広報公聴事業】庄原市出前トーク事業	所管課	総務部 行政管理課
-------	--------------------	-----	-----------

市民意見 (プラモニ)		※市民意見は、意見数集計のみを評価とします。(プラモニとしての総括評価はありません。)				
意見数分布	現行どおり	拡 充	縮 小	終 了	その他の見直し	総回答数
	5	0	1	0	0	6
主な 意見	<p>【現行どおり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トークメニューが沢山あり、回数も年々増加しており、必要性が大きい事業と考える。 ・市民への具体的な周知が浸透していないように感じる。 ・各自治会等を通じて、トークメニュー等を積極的にPRしていくことで市民の要望も増えていくと考える。 ・市が積極的に伝えたい事についても、この制度を活用して、出向いて説明できるような工夫ができれば良いと思う。 					
	<p>【縮小】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会社の研修で利用。他社でも活用されることをお勧めします。 					

行政評価委員会評価 拡充して実施	※行政評価委員会の摘録(会議内容)は、ホームページに掲載しています。
-------------------------	------------------------------------

総括意見 市民ニーズ・満足度が高く、また、当該事業実施により、行政と市民の距離が近づき、市民のまちづくりへの参画・協働の機会を増やすことが期待できる、必要性の高い事業である。 特定の地域、年代、団体に偏りがあることから、より市民に分かりやすく、幅広く情報を届けるための手法について、考察されたい。 ①項目が多いのは良い事ではあるが、告知の文字が小さい。 今現在多くの関心や興味を持たれているであろう話題に的を絞る等、検討されたい。 ②学校行事・地域行事等で集まりの多い土・日曜日の開催について検討されたい。

※委員会における最終的な評価として総括したものであり、最も分布の多い評価を優先するものではありません。

評価分布	現行どおり	拡充	縮小	終了	その他の見直し
	3	3			1

各委員の意見	<p>【現行どおり】</p> <p>①メニューも多くあり利用する人には効果の多い事業であると思う。認知度が少ないのか利用が一定の地域に偏っているようです。今後広報誌、住民告知端末などを利用し、利用の増加に努めてほしい。</p> <p>③プラモニ【現行通り】の4項目の意見に賛同します。</p> <p>⑤住民が、市の施策や事業に対する説明を聞き、又それに対する疑問点や改善点、要望等を行政の方と懇談する機会が開かれていることは、とても良い事と思います。 地域的な偏りをなくすために、例えば、土曜・日曜での開催を考慮していただければより身近になるのではと考えます。(地域の行事が土日にあることがほとんどなので、その機会を使えばどうでしょうか。)</p> <p>【拡充】</p> <p>②市政の内容を市民により深く理解してもらうためにより効果的な事業であることから今後、より充実した内容で、広く周知しながら進めることが必要と思われる。</p> <p>④実施回数が年々増加しており、ニーズのある事業と感じる。市内全域へ浸透する取り組みとして拡充すべきと考える。</p> <p>⑦公平な立場で説明する必要がある内容が多いため、市が実施すべき事業と思う。ただし、市民への周知については改善の必要があると思われる。回覧板で配る市報の中に入れていても、見ていない人は多い。本庁舎・各支所・各自治振興区センターにチラシを置くだけでなく、小学校や中学校のPTAには教育委員会から各学校を通じて、保育園・幼稚園の保護者会には児童福祉課からというように関連する課から地区の関連団体などにも出前トークの一覧を配布するなど宣伝の方法はあるのではないか。市のホームページに載せていても、市政に興味のない人はまず見ないし、出前トークの事業自体を知らなければ、調べることもない。</p> <p>【拡充・縮小以外の見直し】</p> <p>⑥近年問題になっている悪徳商法への注意喚起や、災害への備えの必要性、健康に生き生きと暮らすためのサポートなど、民間では実施が難しい内容の出張講座は、大変意義があると考えます。 ただし、実際に実施されているエリア、そして対象となっている年齢層に偏りがあることについては、今後かなりの工夫と改善が必要ではないでしょうか。特に農業従事者は、春から秋にかけては忙しく、講座に参加する「予定」自体が立てにくいのが事実です。 エリア・年齢は違っても、それぞれの市民に、大切な情報や暮らしの質を上げる情報を届けるためには、ただ講座の種類を増やして「待つ」だけでなく、「みんなで一緒に、そして各人がそれぞれ考えていこう」という呼びかけをしていくことが大切だと思います。地域のサロンの皆さんだけではなく、若者や現役世代にも「響く」、出張講座を期待します。</p>
--------	---

今後の事業実施の方向性 現行どおり

詳細	<p>①本事業は、広聴事業として実施し、毎年度、担当部署と調整してメニューを決定しています。分野により利用状況に偏りがありますが、幅広く意見等を伺うことができるよう、多様な選択肢を準備したいと考えています。</p> <p>②原則平日での対応とさせていただきますが、担当部署と調整が付いた場合には、土・日曜日にも実施しています。</p>
----	---

備考	予算額 令和2年度：21千円 令和元年度：9千円
----	--------------------------------